



Est.1912

よこと館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



令和7年度 至誠学舎立川で子ども食堂をスタート



平素より子どもたちの健やかな育ちを支えるためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。このたび、至誠学舎立川保育事業本部では「子ども食堂」を令和7年4月より立ち上げ運営をしております。

地域の子どもたちやご家庭に向けて、温かい食事と安心できる居場所を提供する取り組みです。近年、子どもを取り巻く環境は複雑化しており、経済的困難や家庭内の孤立など、さまざまな課題が顕在化しています。そうした中で、「子ども食堂」は、単に食事を提供する場ではなく、地域のつながりを育み、誰一人取り残さない社会を実現する第一歩だと思っています。

私たち至誠学舎立川が大切にしている理念「まことの心」「目の前にいる一人ひとりを大切にする」という精神は、まさにこの活動の根幹です。

子ども食堂の運営には、地域の方々との協働や、日々子どもたちに寄り添う皆さまのご理解とご協力が欠かせません。小さな一歩ではありますが、この取り組みを通して、地域社会に対する新たな貢献の形を築いていければと考えています。

皆さまの温かいご支援とご協力を賜れますよう、よろしくお願い申し上げます。
(保育事業本部 本部長 長谷川 育代)

🌸「にこにこ食堂」の活動の様子をお伝えします。🌸

にこにこ食堂の運営は至誠あずま保育園 前園長 鶴田清江がリーダーを担っています。重要な食事作りは、栄養士・調理員の協力で成り立っています。「子ども食堂、私も参加してみたかったのです。」「前から興味がありました。」と自分の時間の許す限り活動に参加してくださっています。

配膳・環境整備等は、やはり子ども食堂に興味があった職員・地域の方・職員のお子さん（高校生・大学生）がボランティアとしてお手伝いをしてくださっています。

運営費は、日野市から子ども食堂の補助金をいただきながら、食材は社会福祉協議会・児童事業本部・日野市の子ども食堂ネットワークからも支援をいただいております。

…子ども食堂実施会場…

- ◆万願寺保育園 / 4・6・8・10・12・2月の偶数月
- ◆至誠あずま保育園 / 5・7・9・11・1・3月の奇数月
- ◇第三金曜日 / 18:10~19:30
- ◇小学生以下無料 / 中学生・高校生 100 円
大学生・大人 300 円
- ◇1回の実施 / 定員50名まで

以上となりますが、どなたでも参加できますので、どうぞ予約の上、お越しください。





<子ども食堂を担当して>

保育事業本部長の提案に共感し、定年退職を機に子ども食堂に携わることになりました。「まずはやってみないと始まらないから」と言う事業本部長の前向きな言葉に事は進んでいきました。

初めてのことに手探りで取り組み、日野市子育て課に何度も通り相談させて頂きました。1年目は食具購入から始めるため、補助金内で賄うことはできないことを知り、事業本部会計からの支援にも感謝しています。

また、補助金を申請するための条件として市主催の研修と連絡会に参加することがあります。他に社協主催の子ども食堂関係者の交流会。1つ1つが新しい人々との出会いであり、当たり前のようにボランティア活動をされている方々の姿を目にし、私にとっても大変勉強になっています。

私たちが始めたことは、社会福祉法人として、いかに社会に貢献できるかという大事な課題でもあると思いますが、職員の意識の高さに支えられ、今のところ順調に運営されています。実際、他の子ども食堂では、「ボランティアがいません。どなたか手伝ってください。」というLINEが入ることや、「次回は〇〇で行います」など、開催場所が定まらないグループもあります。「社会福祉法人至誠学舎立川 にこにこ子ども食堂」として理事長名で申請している子ども食堂を皆さんの力でこの先長く継続できるようご協力をお願いしたいと切に願い、開始4か月のご報告といたします。

(にこにこ子ども食堂 副代表 靄田清江)

<利用者アンケート自由記述より>

- ・家では母と子どもで食べることが多く、あまり食べないのに、子ども食堂だと良く食べてくれます。
- ・共働きで帰宅が遅くなると、夕食を準備するのが本当に大変で…。子ども食堂ではあたたかいご飯をいただけるので、仕事のある日でも安心して子どもを連れて行けます。
- ・普段、人の作ったものを食べないので、とても幸せな時間です。また是非利用したい。
- ・子どもにお腹いっぱいご飯を食べさせていただいて本当にありがとうございました。私もとてもリフレッシュできました。また利用させて頂きたいです。

<私たちの思い（会を支えていただいているボランティアさんです）>

「どの子ども、あたたかい食卓と、やさしいまなざしの中で育ってほしい」それが、至誠学舎立川の子ども食堂に込めた願いです。

子どもたちが将来、誰かにまことの心を返せるような人に育っていくためには、まず私たち大人がまことの心で接し、つながりを届けていくことが大切だと考えています。

この活動を通して、子どもたちだけでなく、地域全体がやさしく支え合える社会づくりを進めてまいります。



（編集後記）今回は保育事業本部の新たな取り組みについてお知らせいたしました♪10月18日（土）は「至誠秋祭り」開催予定です！次回はその模様を…お楽しみに♪（小）